

インクジェットプリンター ML Tiger-1800B

お手入れのお願い

本機は非常に微細なメカニズムを持つ精密機械です。特にインクを吐出するヘッドのノズル面は、わずかなホコリや紙粉の付着でも影響を及ぼし、正常なプリント結果を得られなくなる可能性があります。より良い状態でご使用いただくために、以下のお手入れを日常行われることをお勧めします。

1. 安全上のご注意	2
2. 設置環境	3
3. メディアの保管	3
4. お手入れを行うタイミング	3
5. お手入れに必要な道具	3
6. ユーザーメンテナンス	4
7. ヘッド周辺の清掃 8 時間に 1 回	6
8. ワイパーの清掃 8 時間に 1 回	7
9. キャッピングステーションの清掃 100 時間に 1 回	8
10. 洗浄ユニットスキージー清掃 32 時間に 1 回	9
11. ワイパーホルダー固定ブロックの清掃 1 週間に 1 回	10
12. ワイパーブレードの交換 2 週間に 1 回	12

1. 安全上のご注意

⚠ 注意



• お手入れの際は、換気に十分注意して、必ず付属の保護メガネと手袋を着用してください。



• 万一、インクが目に入った場合は、直ちに大量の清浄な水で 15 分以上洗い流し、まぶたの裏まで完全に洗い流してください。また、できるだけ早く医師の診察を受けてください。

• インクが皮膚に付着した場合は、大量の水および石鹸または皮膚用洗剤を使用して十分に洗い落としてください。



• インクは、水やアルコールと混ざると凝集物が発生します。ノズル面、ヘッド周辺やキャップ、ワイパーなどに、水またはアルコールを付着させないようにご注意ください。



• 本機はインクの吐出安定性を確保するために、長時間使用(出力)しないときは、充填するインク種によって定期的に微量のインクを吐出(フラッシング)させる必要があります。

• インク種により使用するメンテナンス洗浄液は異なります。洗浄液はお使いになるインクに対応したものをお使いください。

• ヘッド周辺/キャッピングステーション/ワイパーを清掃するときは、クリーンスティック (SPC-0527) をお使いください。
通常の綿棒をお使いになると、糸くずが残って二次障害を引き起こすことがあります。

• キャッピングステーションにあるインクキャップやワイパーは、必ず毎日メンテナンスをおこなってください。汚れたままにした場合、ノズル面に汚れが付着したり、ノズルにゴミや凝固インクをこすりつけ、吐出不良が発生したりする恐れがあります。

• キャリッジ下面がインクやホコリの付着により汚れないように、必ず毎日清掃をおこなってください。汚れたままの状態にしておくと、ヘッドクリーニング時のワイブ動作でノズルにゴミや凝固インクをこすり付けてしまう恐れがあります。

• キャリッジ下面を清掃する場合、ノズル面をこすらないよう、十分に注意してメンテナンスをおこなってください。



• 本機を絶対に分解しないでください。感電、火災および破損の原因になります。



• 本機の内部に水気が入らないようにしてください。内部が濡れると、感電、火災および破損の原因になります。



• お手入れは、電源スイッチをオフにし、電源ケーブルを抜いてから行ってください。思わぬ事故が発生する原因になります。



• ベンジン、シンナーや研磨剤の入った薬品は使用しないでください。カバーの表面が変質、変形する恐れがあります。

• 本機の内部に潤滑油などを注油しないでください。故障する恐れがあります。



• 本機に子供を近づけないでください。

2. 設置環境

できるだけホコリの少ない環境で使用してください。扇風機、送風機なども周囲のホコリを舞い立たせる原因です。

精度保証温度は +20 ~ +25 °C、使用可能温度は +15 ~ +30 °C、相対湿度は 35 ~ 65% Rh です。これより低温湿 / 高温湿でのご使用は避けてください。

3. メディアの保管

メディアは、ほこりが付きにくく直射日光が当たらない場所に保管してください。また湿度も嫌いますので高温多湿な場所での保管は避けてください。

4. お手入れを行うタイミング

お手入れするタイミング	お手入れ項目	ウィザード
8 時間に 1 回	ヘッド回りの清掃	○
	ワイパーの清掃	○
32 時間に 1 回	洗浄ユニットスキージーの清掃	
100 時間に 1 回	キャッピングステーションの清掃	○
1 週間に 1 回	ワイパーホルダー固定ブロックの清掃	
2 週間に 1 回	ワイパーブレードの交換	

ウィザードが用意されているメンテナンスについては、ウィザードの指示に従ってメンテナンスを実施してください。

[メンテナンス]メニュー - [ユーザーメンテナンス]から、[メンテナンスウィザード]を選択してください。



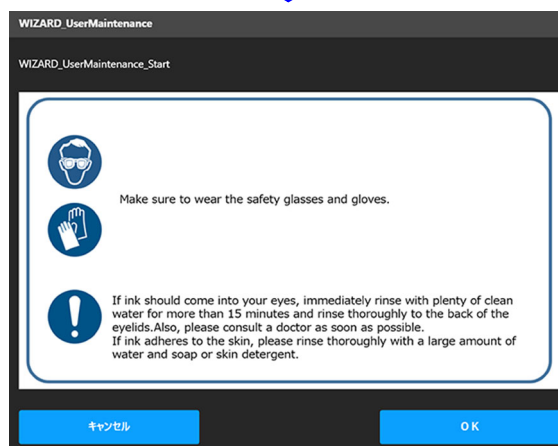
5. お手入れに必要な道具

品名	品番	備考
クリーンスティック	SPC-0527	
洗浄液 ML Cleaner001	C-MLC01-Z-BJ-1-DA	MLRc500 の場合
洗浄液 03	C-FL003-Z-BJ-1-SW	Sb インク用 (EU 以外)
	C-FL003-Z-BJ-1-SE	Sb インク用 (EU)
メンテナンスクロス	SPC-0574	
手袋		
柔らかい布		
保護メガネ	MP-VG-2010 (GJ-1339-04)	
ワイパーゴム	SPA-0309	100 個入

6. ユーザーメンテナンス

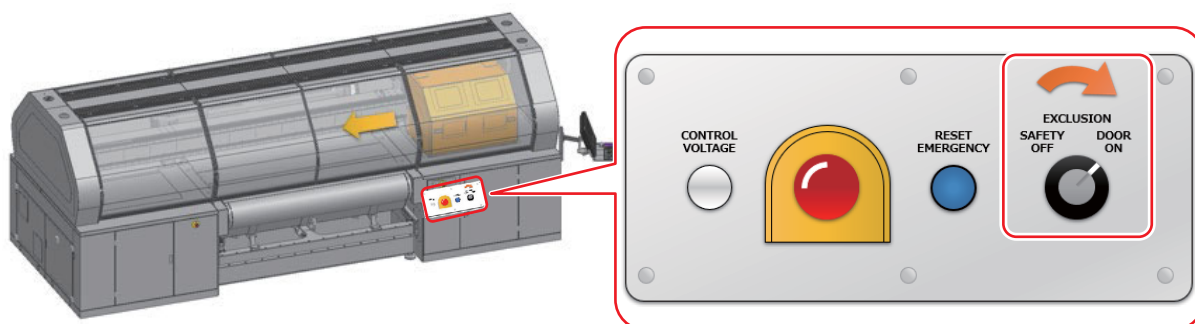
キャリッジ移動の機能は、ユーザーメンテナンス内にあります。
ウィザードに従い、各メンテナンスを実施してください。

- 1 [ユーザーメンテナンス]メニューから[メンテナンスウィザード]を実行します。



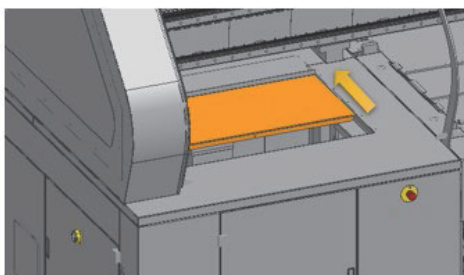
ウィザード開始画面

- 2 ウィザード開始画面の注意事項を確認し[OK]をタップしウィザードを開始します。
- 3 EXCLUSION キーを“DOOR ON”の状態にします。



- 4 キャリッジ移動の確認画面で[OK]をタップするとキャリッジが移動します。

5 キャリッジがメンテナンスエリアで停止した後、メンテナンスシャッターを開けてください。



- 安全のため、キャリッジが停止してからメンテナンスシャッターを開けてください。

6 各メンテナンスの案内に従い、メンテナンスを実施します。



- ウィザード内に、ユーザーが実施するメンテナンスの案内が下記の順で表示されます。
 - (1) ヘッドメンテナンス (P.6)
 - (2) ワイパーメンテナンス (P.7)
 - (3) ステーションメンテナンス (P.8)
- 実施しないメンテナンスについてはスキップしてください。
- 各メンテナンスの詳細な手順については P.6 ~ P.8 をご覧ください。

7 メンテナンスが終了したら、メンテナンスシャッターを閉じ、EXCLUSION キーを“SAFETY OFF”の状態にし、ウィザードに従い終了します。

- ウィザード終了後、エラー発生状態となります。

8 [アラームクリア] ボタンをタップします。

- エラーが解除されます。

7. ヘッド周辺の清掃 8 時間に 1 回

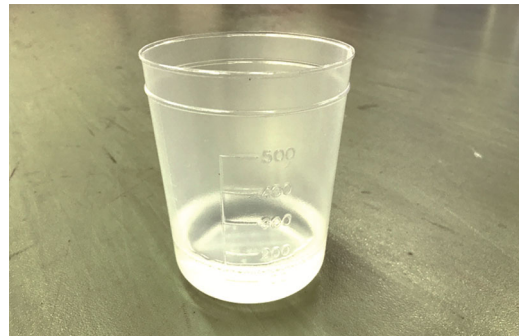


- ヘッド周辺は最も汚れがたまりやすく、本機の動作や作図結果に影響を及ぼす恐れがあります。また、ヘッドそのものは非常に微細なメカニズムを採用しておりますので、お手入れを行う際は十分注意してください。
- メンテナンス洗浄液は、お使いになるインクに対応したものをお使いください。
- [メンテナンスウィザード] を実行して清掃してください。☞「ユーザーメンテナンス」(P.4)

1 洗浄液をディスポカップに移します。



- ディスポカップに残った洗浄液は、洗浄液ボトルに戻さないでください。

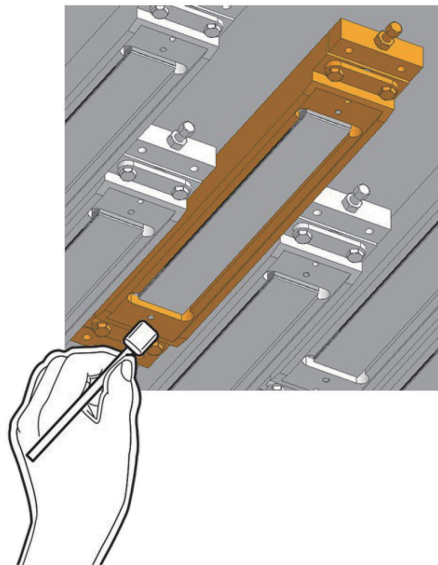
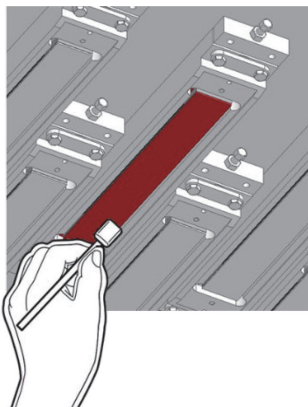


2 クリーンスティックまたはメンテナンスクロスにメンテナンス洗浄液を含ませ、ヘッドの側面、スライダ底面に溜まった汚れを拭き取ります。

- ヘッド周辺にゲル状になったインクや、ホコリが付着することがあります。丁寧に拭き取ってください。



- ノズル部分は、絶対にこすらないでください。



8. ワイパーの清掃 8 時間に 1 回

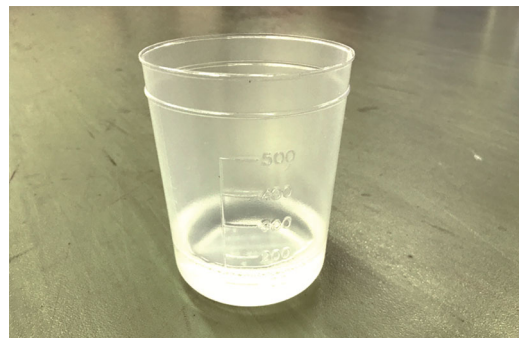


- ワイパーには、インク、ホコリおよび紙粉などがたまります。ワイパーの状態を確認し、汚れていたら清掃してください。
- メンテナンス洗浄液は、お使いになるインクに対応したものをお使いください。
- [メンテナンスウィザード] を実行して清掃してください。☞「ユーザーメンテナンス」(P.4)

1 洗浄液をディスポカップに移します。



- ディスポカップに残った洗浄液は、洗浄液ボトルに戻さないでください。



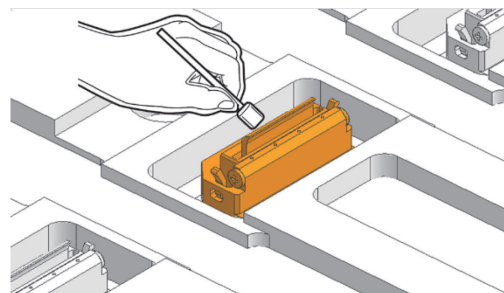
2 クリーンスティックにメンテナンス洗浄液を含ませ、ワイパーとブラケットに付着したインクを拭き取ります。

- メンテナンス洗浄液は、残らないように拭き取ってください。



- ワイパーが次のような場合は、交換してください。

- (1) ワイパーが変形している。
- (2) 固着したインクが拭き取れない。



9. キャッピングステーションの清掃 100 時間に 1 回

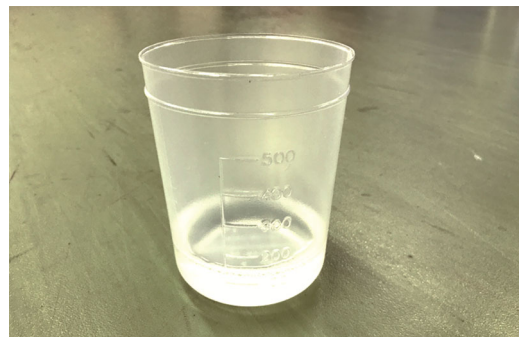


- キャップ周辺もホコリやインクがたまりやすい場所です。ご使用のインクに適したメンテナンス用洗浄液を使用し、汚れが付着しないよう、こまめな清掃をお勧めします。
- [メンテナンスウィザード] を実行して清掃してください。☞「ユーザーメンテナンス」(P.4)

1 洗浄液をディスポカップに移します。

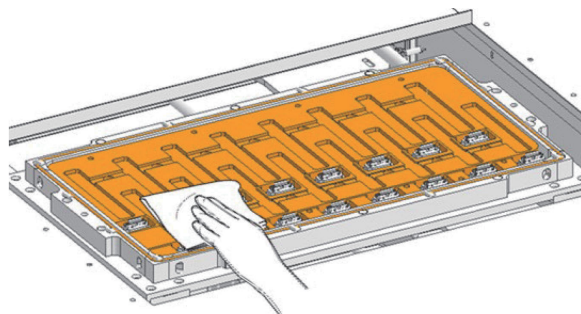


- ディスポカップに残った洗浄液は、洗浄液ボトルに戻さないでください。

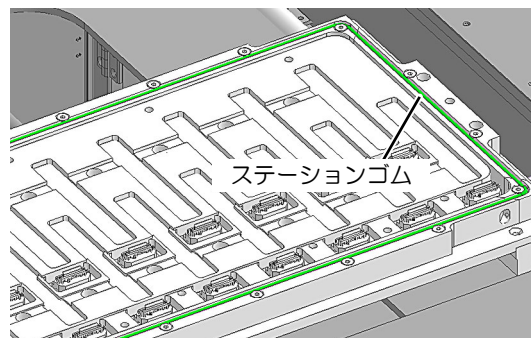


2 クリーンスティックまたはメンテナンスクロスにメンテナンス洗浄液を含ませ、汚れを拭き取ります。

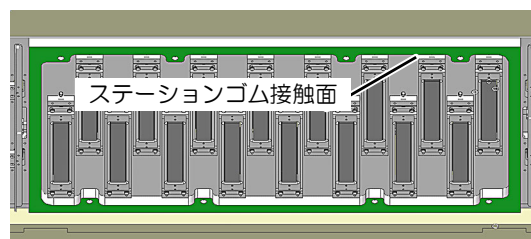
- ゲル状になったインクを拭き取り、インクが流れるようにしてください。



3 ウェスにメンテナンス洗浄液を含ませ、ステーションゴム表面のインクを拭き取ります。



4 ウェスにメンテナンス洗浄液を含ませ、キャリッジ底面のステーションゴム接触面のインクを拭き取ります。

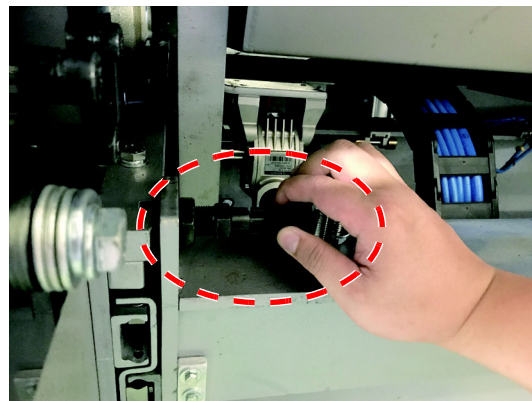


10. 洗浄ユニットスキージ清掃 32 時間に 1 回



- ホコリやインクがたまりやすい場所です。ご使用のインクに適したメンテナンス用洗浄液を使用し、汚れが付着しないよう、こまめな清掃をお勧めします。

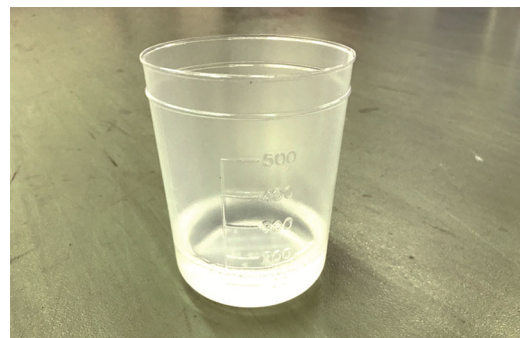
1 ベルト洗浄ユニットを引き出します。



2 洗浄液をディスポカップに移します。



- ディスポカップに残った洗浄液は、洗浄液ボトルに戻さないでください。



3 ウェスにメンテナンス洗浄液を含ませ、汚れを拭き取ります。



スキージー

11. ワイパーホルダー固定ブロックの清掃 1週間に1回

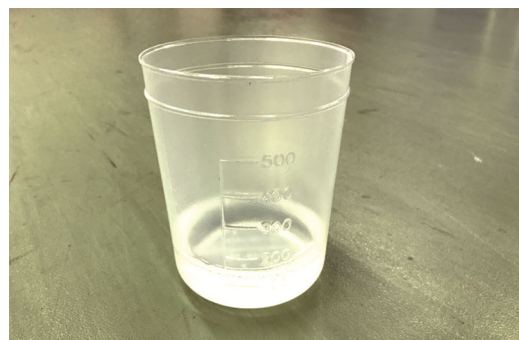


- ホコリやインクがたまりやすい場所です。ご使用のインクに適したメンテナンス用洗浄液を使用し、汚れが付着しないよう、こまめな清掃をお勧めします。

- 1 非常停止スイッチを押します。
- 2 正面カバー R を開けます。
- 3 洗浄液をディスポカップに移します。



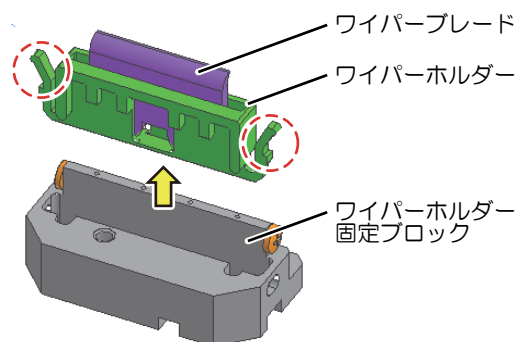
- ディスポカップに残った洗浄液は、洗浄液ボトルに戻さないでください。



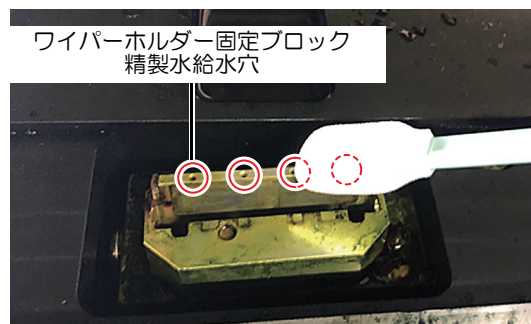
- 4 ワイパーホルダーの赤丸部 (x2) を内側に倒しながら持ち上げます。
- 5 ワイパーホルダーを、ワイパーホルダー固定ブロックから取り外します。



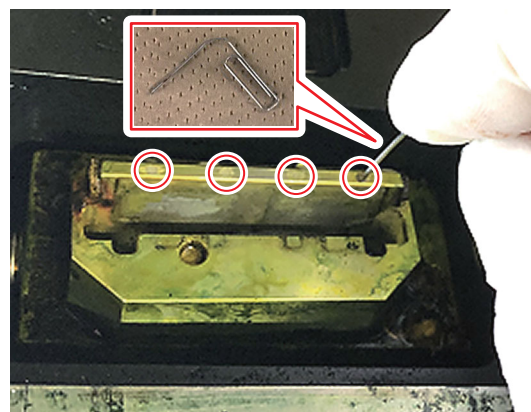
- インクの漏れに注意して作業してください。



- 6 クリーンスティックまたはウェスにメンテナンス洗浄液を含ませ、ワイパーホルダー固定ブロックの精製水給水穴付近のインクを拭き取ります。



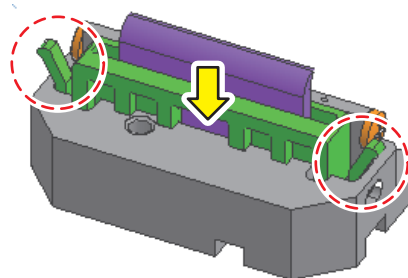
- 7** ワイパーホルダー固定ブロックの精製水給水穴にクリップ等を挿し込み、インクの詰まりを解消します。



- 8** ワイパーホルダーを、ワイパーホルダー固定ブロックにセットします。

- ワイパーホルダーの赤丸部が、ワイパーホルダー固定ブロックに引っ掛かるまで押し込みます。

- 9** ワイパーホルダーを引っ張っても外れないことを確認します。



- 10** 正面カバー R を閉じます。

- 11** 非常停止スイッチをリセットします。

- 12** 本機のリセットを行います。

12. ワイパーブレードの交換 2週間に1回



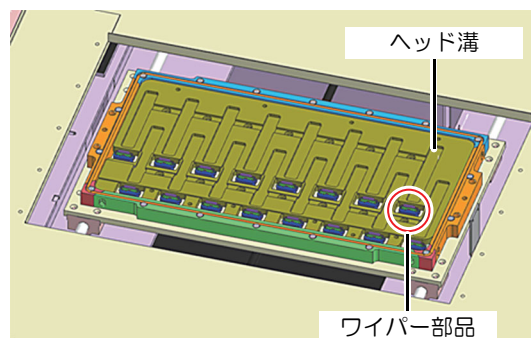
- ホコリやインクがたまりやすい場所です。ご使用のインクに適したメンテナンス用洗浄液を使用し、汚れが付着しないよう、こまめな清掃をお勧めします。

1 非常停止スイッチを押します。

2 正面カバー R を開けます。

3 ステーションを清掃します。

- ステーションのヘッド溝とワイパー部品からすべてのインクを取り除きます。
(ワイパーの清掃 (P.7)、キャッピングステーション清掃 (P.8))

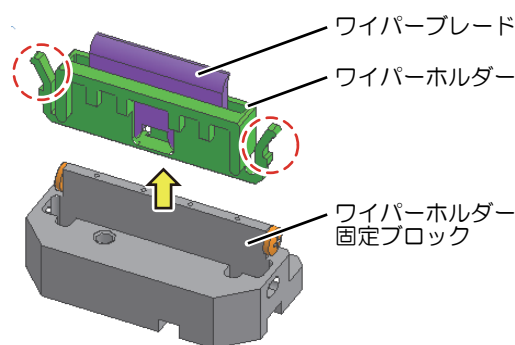


4 ワイパーホルダーの赤丸部 (x2) を内側に倒しながら持ち上げます。

5 ワイパーホルダーを、ワイパーホルダー固定ブロックから取り外します。



- インクの漏れに注意して作業してください。



6 ワイパーホルダーからワイパーブレードを取り外します。

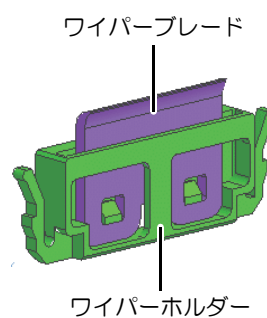


- ワイパーホルダーは交換しません。

7 新しいワイパーブレードに交換します。

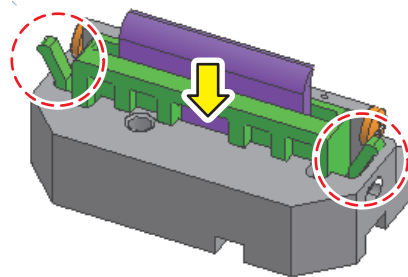


- ワイパーの向きに注意して取り付けてください。



8 ワイパーホルダーを、ワイパーホルダー固定ブロックにセットします。

- ワイパーホルダーの赤丸部が、ワイパーホルダー固定ブロックに引っ掛かるまで押し込みます。



9 ワイパーホルダーを引っ張っても外れないことを確認します。

10 正面カバー R を閉じます。

11 非常停止スイッチをリセットします。

12 本機のリセットを行います。

MEMO



本書の最新版は、弊社ホームページからもダウンロードできます。

© 2019 MIMAKI ENGINEERING CO., LTD.

D203479-12-29052020

IG

MM

Tiger Products Install Pack 2.01